



成瀬ダム堤体打設工事

工事だより

[第26号]



【発行元】

鹿島・前田・竹中土木JV 成瀬ダム堤体打設工事事務所

2023年6月発行

〒019-0803 東成瀬村椿川字立石30-1

TEL：0182-23-5185

WEBサイトはこちら

FAX：0182-23-5186 (担当：堀江)

www.narusedam.jp



工事に関してご不明な点がございましたら、お気軽にお電話ください。

今年度の堤体打設が再開しました



ダムサイト全景（下流より）2023年5月撮影

工事概要

工事名	成瀬ダム堤体打設工事
発注者	国土交通省東北地方整備局成瀬ダム工事事務所
工事場所	秋田県雄勝郡東成瀬村椿川地内
水系	1級河川 雄物川水系成瀬川
地質	緑色凝灰岩・凝灰角礫岩・凝灰質泥岩
工期	2018年5月9日～2026年12月11日 (3,138日、約103ヶ月)
ダムの目的	洪水調整 (F) ・流量機能維持 (N) ・農業用水の補給 (A) ・水道用水の供給 (W) ・発電 (P)

進捗度

堤体積	2023年5月20日現在
CSG	2,372,600m ³ /4,313,000m ³ (55.0%)
CON	310,300m ³ /576,930m ³ (53.8%)
堤高	56m/114.5m (48.9%)
6月1日現在の人数 計 595人 (JV職員93人・協力会社502人)	

工事現況写真



左岸（施工状況）
2023年5月撮影



右岸（施工状況）
2023年5月撮影

現況報告

5月8日に今年度のKAJIMA DX LABOの営業が再開しました！最盛期のラボ運営を実施するにあたり、高橋 和佳奈さんが、コンシェルジュとして新たに着任しました。今年度は3人体制でお客様をお迎えする事となりますので宜しくお願い致します。

5月26日には、東成瀬村建設業協会主催のボランティア活動である「キバナコスモス植栽に伴う下地整備作業」に当JVから3名が参加しました。東成瀬村の風物詩となっている、地元の小中学生が植えたキバナコスモスが、国道342号線沿いに満開で咲き誇る風景が今から楽しみです！！



【KAJIMA DX LABO案内風景】
多くの方のご来場をお待ちしております！！



【新コンシェルジュの高橋さん】
山形から東成瀬村に着任してくれました！



【ボランティア参加者】
約2時間、一生懸命草刈を実施しました！
※撮影：小林職員

ご挨拶

工事4Gr.の村瀬 晃（むらせ あきら）と申します。2023年4月から赴任しております。成瀬ダムに赴任する前は、鳥海ダムの転流トンネル工事に従事していました。

出身地は石川県能登島町（現：七尾市）です。能登島町は東成瀬村と同じような大自然に囲まれた環境で、少年時代は海や山で良く遊びました。特に釣りに熱中し一年中、釣りをしていました。それはアニメ放映されていた「釣りキチ三平」の影響だと思えます。矢口高雄先生の描く魚の絵は、それまでの図鑑の絵と異なり、飛び跳ねるような魚でとても生き活きてますよね。多分、先生もこの地で魚を目に焼き付けていたのだらうと思えます。

業務内容は、左岸排水トンネルをはじめとした排水工事を管理するGr長です。お約束した排水基準を確実に守り、地元の方々に迷惑を掛けずに協力を得られるよう頑張っていきたいと思えます。

今後ともご支援ご協力の程宜しくお願い致します。



鹿島・前田・竹中土木
特定建設工事共同企業体
成瀬ダム堤体打設工事事務所
工事4グループ長
村瀬 晃（前田建設）

自動化Gr.の藤巻 孝治（ふじまき こうじ）と申します。次世代建設生産システム「A4CSEL(クワッドアクセル)」を用いて自動化施工をする中で、私は主に振動ローラの自動運転を担当しています。振動ローラはダム本体のCSG材料を締め固める重要な役割を担っていますので、トラブル防止に努め、効率の良い施工となるよう日々管理しております。

「KAJIMA DX LABO」にお越しの際は、現場近辺に設置されている展望台から、複数台の振動ローラが整然と動く様子を、ぜひご覧いただければと思います。

単身赴任で現場に従事しておりますので、休日はJVの仲間とバスケットボールをしたり、温泉・サウナを満喫するなどしてリフレッシュしています。

2023年度の工事が本格化している中、これまで以上に気を引き締めて施工を行ってまいりますので、今後とも皆さまのご支援・ご協力の程、よろしくお願い致します。



鹿島・前田・竹中土木
特定建設工事共同企業体
成瀬ダム堤体打設工事事務所
工事課長代理（自動化Gr）
藤巻 孝治（鹿島建設）